

ダイバーシティ推進センター 令和 5 年度活動報告

ダイバーシティ推進センターでは、学長を本部長とする「ダイバーシティ推進本部」とともに、多様な属性を持った人材が本学の人的資源として活躍できる支援を行う組織としてダイバーシティ推進に努めております。

【活動報告】

1. 「2023年ダイバーシティ推進に関する意識・実態アンケート」を実施

推進本部、推進センター共同で、全学（全施設・全職員）を対象としたダイバーシティ意識・実態アンケートを実施し、5,473名中1,998名（回収率36.5%）と多くの方にご回答いただきました。推進本部や推進センターの認知度をはじめとし、本学でのダイバーシティに関する意識はまだまだ低いことがわかりました。

アンケート調査報告書を「概要版」「全体版」として、東京医科大学ホームページ及び当センターホームページに掲載しております。

アンケート調査報告書公開



【アンケート結果概要】

1. 本学のダイバーシティ推進活動の認知度は十分ではなく、特に茨城・八王子医療センターは認知度が低い。
2. 本学のダイバーシティについて、特にマイノリティを公平に扱うこと、性自認・性的指向の多様性の受け入れ、職員の国籍の多様化が実現していない。
3. ダイバーシティの重要性は認識しつつも、職員によって負担が大きくなる懸念を有している。
4. 女性上位職の増加には、ライフイベントへの負担軽減とアンコンシャス・バイアスの排除が望まれている。
5. 事務職の昇任では評価法の確立による透明性の高いシステムが望まれている。
6. 男女ともに2割強が性別による不当な差別を受けたことがあると感じており、男性は業務内容、女性はライフイベントに関する不利益を感じている。
7. 本学での仕事にはやりがいを感じている職員が多いが、給与と昇任制度については改善を求める声が多い。
8. 育児・不妊治療・介護についての支援体制の強化が望まれている。
9. デジタル化やシステム統一による業務の効率化、保育園の夜間保育・病児保育、ハラスメント対策、茨城医療センターの設備整備、が望まれている。
10. ポジティブ・アクションについては、助教以上では、女性では賛同60%、どちらともいえない33%、反対1%未満であり、男性では賛同41%、どちらともいえない36%、反対22%であり、男女で差があった。男性が差別されることへの懸念が最も多かった。
11. 本調査の解析結果の公表と活用への期待、障がい者への対応を含めた活動が必要との意見が寄せられた。

【次年度の活動の重点項目】

1. 院内保育園の夜間保育の実施。(2024年4月開設予定)
2. ダイバーシティ推進センターにて介護に関する相談窓口案内を実施。(2023年12月より開始)
3. 障がいに関する理解を深めるための講義を実施。(2024年度より開始)
4. ハラスメント相談体制整備に関する提言。
5. 定期的なアンケート実施によるダイバーシティに関する意識向上を推進。

2. 教職員への研修

教職員の SOGI（性自認・性的指向）等の理解を深めるため、SD 研修会を開催しました。

- ・「性の多様性を認め誰もが働きやすい環境づくり」令和 5 年 7 月 4 日開催
- ・「LGBTQ と性の多様性」令和 6 年 1 月 30 日共催（主催：看護学科地域貢献活動委員会）

3. 研究者支援・学生教育支援

令和4年度に引き続き、出産、育児、介護等のライフイベント中の研究者の研究継続支援として研究補助者を10名配置しました（女性3名、男性7名）。

学生に対しては、キャリアガイダンスやジェンダー論等の医療プロフェッショナリズム講義を年間10講義担当し、学生のダイバーシティに関する捉え方や各講義の内容を広く共有するため、レポート採点を教育・研究サポート部門の室員10名で行いました。

4. 就業継続・育児支援

多職種からなる相談員11名でキャリア形成、就業に関する相談など27件に対応しました。教職員だけでなく学生からも、留学やキャリア形成に関する相談が寄せられました。

育児支援では、令和4年度に引き続き、地域の方々から支援を受ける会員相互の援助活動である「女子医大・東京医大ファミリーサポート事業」を東京女子医科大学と共同で行いました（利用件数661件）。コロナ前に比べ、活動件数は減少しておりますが、令和5年度は保育サービス講習会を開催することができ、今後は例年通りの活動件数が見込まれています。

5. 環境の整備

新宿キャンパスに障がいの有無や性別に関係なく、誰もが安心してキャンパスを利用できるよう、オールジェンダートイレのサインを設置しました。これにあわせ、AED、エレベーター、トイレの情報を加えた「新宿キャンパスマップ」を作成しました。



サイン設置例



6. 広報活動

当センターの取り組みを紹介し、より多くの方にサポート制度をご利用いただくための広報活動として、約100名の教職員にご協力いただき、「ダイバーシティ推進センター紹介movie」を制作し公開しました。ぜひ一度ご覧ください。



センター紹介 movie

詳しくは当センターホームページをご覧ください。

URLはこちら ⇒ <https://www.tokyo-med-diversity.jp/>



(ダイバーシティ推進センター)